

## ILSI Japan 活動報告 &lt; 11 &gt;

## 【部会・分科会活動報告】 2008年5,6月度

食 品 安 全 研 究 会	食品安全調査研究部会	e-mail 情報の発信： ・第2報「アレルギーに係わる『えび』および『かに』の義務表示化について」 部会会合：なし
	食品アレルギー研究部会	7/2 例会準備 シンポグループ：アレルギー表示免除に関する EFSA Report 調査、 翻訳グループ：Article on Hazard Characterization in Food Allergen Risk Assessment: ( Food and Chemical Toxicology 2007; 45: 691-701) 部内講演（抗アレルギー食品の開発と新たな展開 河口友美 様）
	食品微生物研究部会	08年第1回部会全体会議開催（5/22, 13:00～）。厚生労働科学研究および毒性学勉強会の取り組みについて討議。微生物勉強会開催（5/22, 15:30～安形則雄先生/食糧会館）。上記厚生労働科学研究に関して ILSI 参画企業への共同説明会開催（6/20, 13:00～国立衛研）。 < 次回部会全体会議；9月1or2日で調整中 >
	食品リスク研究部会	08年第2回運営会議開催（6/9, 13:00-14:00, 食糧会館） 今後の活動に関する検討、および日健栄協における健康食品安全性評価の考え方作成の進捗把握を行った。 勉強会開催（6/9, 14:30-17:00, 食糧会館）参加者 33 名。 演題：食品安全性評価におけるリスク情報の収集について 講師：国立衛研畝山智香子先生 < 次回運営会議：8/19, 13:30-16:30 >
	バイオテクノロジー研究部会	6/26 部会開催。HESI から Holsapple 理事長来日、2月のセミナーのまとめと今後の協力を話し合った。
	香料研究部会	・6/9 TTC 翻訳監修原稿を受領 ・6/13 TTC 翻訳版出版準備の会合開催（ILSI 会議室、3名+米久保氏）。和文確認の分担作業を部会員に依頼。9月中の発行を目指す。
	食品安全研究会全体	第3回理事会 6/6 出席。食品リスク研究部会会合および畝山先生勉強会 6/9 出席。国立衛研と食品微生物研究部会との共同研究に関する工藤先生との事前打合せ 6/12。国立衛研での清涼飲料水に関する共同研究説明会 6/20。香料研究部会 TTC 翻訳版出版に関する ILSI Europe との調整。
栄 養 健 康 研 究 会	栄養研究部会	第5回「栄養とエイジング」国際会議終了後の作業として、プロシーディングス作成に向けて作業中、8月発行予定の「イルシー」誌 No.94 に日本語原稿を掲載すべく実施中。
	肥満タスクフォース	「日本人の肥満」日本語版の印刷に向けて第1回校正を実施中である。また、英語版作成に向けて、日本語版の短縮版作成を実施中。夏頃を目処に出版予定。英語版のプルーフリードを依頼中。
	炭水化物研究部会	GR プロジェクトと、二つの分科会（果糖分科会、ダイエット分科会）を中心に、活動を進める。炭水化物の摂取と健康（肥満、生活習慣病）との関係を、ILSI Japan として明確にすることを目標としている。
	GR プロジェクト	GR 法の多施設評価の内容を、昭和女子大の中西准教授が中心となり検討した。内容の具体化後に、会員へ評価の協力を求める予定。
	果糖分科会	5月13日に果糖分科会を実施した。本分科会の内容を今後2-3回の内にまとめてゆくこと、さらには論文化できるか検討して行くことにした。7月8日の分科会のアジェンダを各メンバーに配信した。
	ダイエット分科会	5および6月は分科会実施せず。関連文献を分科会員に割り当て、内容検討を継続中。

	茶類研究部会	原部会長辞任に伴う今後の部会の在り方につき、6月27日に部会を開催して相談する。茶情報分科会の形で継続することとなった。
	日本の食生活と肥満研究部会	本部会の研究発表会開催のための第一回組織委員会を開催し、発表会の開催素案を作成。開催日はILSI Japanの年次総会の日を第一候補(2009年2月中旬予定)。開会の辞と総括を小林先生、閉会の辞を木村先生にお願いする方向で調整。
	発酵製品の多様性分科会	食事の水分およびだしの効果について、引き続き調査を継続中。
	脂質の種類分科会	報告会に向けて調査項目を再確認し、調査を継続中。10月末を目途に調査およびその評価、まとめを行う予定。
	食事の量分科会	インターマップスタディの解析を継続。一日の摂取エネルギー・マクロ栄養素摂取量を比較した結果、男性においてBMIの高いグループは、低いグループに比べて一日の摂取エネルギー量は130kcal多く、夕食に脂質と動物性タンパク質の摂取が多い傾向。女性では、関連性が見られなかった(論文投稿予定)。
	食品機能性研究会	
C H P	CHP 全体	ニュースレター発行(No.9)
	Project PAN (Physical Activity and Nutrition)	<p>テイクテン(TAKE10!)</p> <p>6/10, 11, 19, 20, 24, 26「すみだテイクテン フォローアップ教室」(墨田区6会場)</p> <p>6/19AM 講演会「TAKE10!®(テイクテン)でいつまでも元気～これからの介護予防のために～」(講師:熊谷修、島根・益田市)</p> <p>6/19PM 益田市介護予防リーダー養成講座(講師:木村美佳、島根・益田市)</p> <p>6/19PM 講演会「TAKE10!®(テイクテン)でいつまでも元気～これからの介護予防のために～」(講師:熊谷修、島根・津和野町)</p> <p>6/20, 21 津和野町介護予防リーダー養成講座(講師:木村美佳、島根・津和野町)</p> <p>6/30~7/1 益田市介護予防リーダー養成講座(講師:木村美佳、島根・益田市)</p> <p>リズムテン(LiSM10!)</p> <p>5/22 第51回糖尿病学会発表(東京国際フォーラム)</p> <p>“生活習慣病予防プログラム「LiSM10!」によるメタボリックシンドローム改善効果”</p>
	Project SWAN (Safe Water and Nutrition)	<p>5/9 水管理組合の継続性に関するフォーカスグループ・ディスカッション(ダイモ、ベトナム)</p> <p>5/12 ポスターを用いた情報伝達の効果モニタリング(クワンチュン、ベトナム)</p> <p>5/23 母親を対象とした食品衛生行動に関するフォーカスグループ・ディスカッション(クワンチュン、ベトナム)</p> <p>6/5 安全な水と食品衛生ワークショップ(クワンチュン、ベトナム)</p> <p>6/15 乳幼児食の与え方と栄養ワークショップ(クワンチュン、ベトナム)</p> <p>4~6月 ニュースレターの発行</p>
	Project IDEA (Iron Deficiency Elimination)	フィリピンとカンボジアにおいて、其々、鉄強化米、鉄強化魚醤の啓発プロジェクト進行中

Action)	
国際協力委員会	
情報委員会	委員会開催 2 回 (5, 6 月)。 日常業務としてのホームページ更新。 ILSI Japan パンフレット英文版作成作業 <最終英文チェック>。 News Letter 第 1 号 <英語版> 作成作業。 「栄養学レビュー」17 巻 1 号編集委員会開催、翻訳作業進行中。
編集部会	「イルシー」誌 93 号発刊 「イルシー」誌 94 号 第 5 回「栄養とエイジング」国際会議プロシーディング号 編集作業

## 【講演会・シンポジウムご案内】

講演会名	案内	担当研究部会

## 【事務局からのお知らせ】

運営委員会	特になし
執行委員会	<p>5 月 28 日に平成 20 年度第 4 回執行委員会が開催された。</p> <p>審議事項</p> <p>議案 1. 「コミュニケーション推進会議」(仮称) 設置 情報委員会の仕事と推進会議の仕事の区別がつけにくい、両方を一緒にすると、人や金の募集が難しくなるので、当初の予定通り、情報委員会とは別に推進会議を設置するよう提案すべきである。尚、事前のワーキンググループ会議での要旨は下記の通りであった。</p> <p>推進会議の主たる目的は ILSI Japan の価値を高めるための活動を行うことであり、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的には ILSI Japan の活動を海外へ発信 (ILSI 本部・支部 およびグローバル企業等) することを意識している。</li> <li>2. 国内的には会員企業の Management, マスメディア, CSR 担当者へのアピール (ILSI 本・支部, WHO, FAO に関する情報等。)</li> <li>3. その他細目についてはワーキンググループの会議の中で議論し、提案をする。</li> </ol> <p>この報告を受け、当委員会で議論の結果、先ずスタートする事が先決で、最初はお金をかけないで、ボランティアベースでスタートとし、欠けている情報、Process 等を議論し、あるべき組織を会員に提案することになった。</p> <p>議案 2. 「栄養学レビュー」 女子栄養大学出版部との販売契約書 (案) の内容について説明があり、下記のような質疑応答があった。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 6 月 6 日の理事会までに最終案に近いものを用意して欲しい。</li> <li>2. 経費分担が具体的にいくらになるのか欲しい。</li> <li>3. 利益が出たときはどうするのか確認して欲しい。</li> <li>4. 契約期間の 3 年を 2 年にして、その時点で延長が可能か再度判断することが可能か検討して欲しい。</li> </ol> <p>以上の結果、契約内容の Review を顧問弁護士に依頼する事になった。</p>

	<p>議案 3 . 「第 2 期東京大学寄付講座」  「第 2 期東京大学 ILSI Japan 寄付講座参加申込み会員リスト」について説明があり、4 月末で 24 社の申込みがあったが、その内の富士フイルム・シミックヘルスケア(株)が同講座に参加するために ILSI Japan へ入会することになった。また、7 月くらいまでにメンバーを確定して同時に Press Release をし、第 1 期の研究成果発表を 12 月に行う予定であることが報告された。</p> <p>議案 4 . 「ILSI Research Foundation の研究提案募集への対応」  次年度 ILSI Research Foundation へ研究提案をするために ILSI Japan の研究部会を対象とした説明会を、7 月の始めに開催予定であることが報告された。</p> <p>今年度、日本からは CHP が提案することが決定しているが、栄養研究部会からも 1 件出すことになった。</p> <p>議案 5 . 「電子会議室開設の提案」  NET WORK を通した会議の導入の提案があった。委員や理事が一堂に会しなくてもできる会議、例えば電話 (IP) 会議、PC の画面を見ながらやる方法等があるが、後日具体的な仕組みを事務局で検討することになった。</p> <p>次回の執行委員会は 7 月 11 日 (金) の 5 時から開催することになった。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
理事会	<p>平成 20 年度第 3 回理事会が 6 月 6 日に開催された。</p> <p>・事項  事項 1 「栄養学レビュー」  栄養学レビュー販売契約覚書 (案 2) について、女子栄養大学出版社と ILSI Japan との間で取り交される販売契約書は、ILSI Japan、Blackwell 社と女子栄養大学の 3 社で出版契約書が交わされた後に弁護士の review を受けることになり、販売契約覚書で基本条件を決めることになった。経費の分担額については現在の段階では未確定であるが、印刷費を除く編集までの制作費は ILSI Japan が負担することになった。赤字になった場合、収益が出た場合の条件も現時点では具体的に決まっていない。第 1 回の編集委員会を 6 月 10 日に実施することが報告された。</p> <p>事項 2 「第 2 期東京大学・ILSI Japan 寄付講座」  資料「第 1 期東京大学 ILSI Japan 寄付講座参加申込み会員」に基づき、現在参加が確定している会員は 24 社で金額にして ¥4 6 百万/年である。なお、富士フイルム・シミックヘルスケア (株) が寄付講座に参加するために ILSI Japan に入会することになった。今後の予定としては 7 月ごろに Press Release、合同発表等のマスコミ報道をしたい。第 1 期の報告会と第 1 期のスタートのためのフォーラム等を 12 月をめぐりにして開催したい。  それに対して下記の質疑があった。</p> <p>1 . 第 1 期と第 2 期の戦略的な違いは何なのか?  第 1 期はゲノミクスの研究であり、第 2 期は何をどう進めるかの方向性が分かったので、ターゲットを絞ることができる。</p> <p>2 . 管理費の 10% の収入は、食品の機能性研究分野をどうするか、またグローバル戦略を考えるための食品機能性研究会の資金となる。</p> <p>事項 3 「財務報告」</p>

	<p>資料「平成 20 年度収支見積計算書」に基づき、今後、会費収入が停滞し、費用の増加のペースが来年以降も続くと、厳しい財務状況になるので、今後どう対処するか執行委員会等で具体的に論議する必要があることが報告された。</p> <p>事項4「その他」</p> <p>Food &amp; Nutrition Safety, 5th Asian Conference について ILSI Southeast Asia Region からこのテーマでふさわしい人の紹介、会議への参加の協力要請があった。ILSI Japan としては予算がないこともあり、費用は現地に賄ってもらい、食品安全委員会の事務局の方、徳島大学武田先生等を紹介するつもりであることが報告された。</p> <p>Research Foundation が各支部の研究提案に対して評価をして1件 \$5 万の Grant を出すので、日本としても積極的な参加を呼びかけるため、ILSI Japan の部会を対象とした説明会を開く予定であることが報告された。なお、CHP は今年 2 件提案するつもりである。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
事務局	<p>元三井農林株式会社の磐井征行氏が 6 月 1 日付で ILSI Japan の事務局員として参加頂けることになりました。情報普及・啓発を担当致します。会員の皆様どうぞ宜しくお願い致します。</p>